

Off The Job Training 新人研修スケジュール(1年目)

実施日時	座学	目安(分)	学習目標
4月	社会人としてのマナー	2日	・医療人としての身だしなみ、態度、挨拶がきちんとできる ・整理整頓を心がけ、働きやすい環境を整備することができる ・電話連絡、電話対応ができる
4月	医療技術部門オリエンテーション:第一会議室 (各部署紹介・案内、グループワーク)	1日	・他職種業務を見学し、他部署の概要を理解する
4月	新人オリエンテーション	30	・新人オリエンテーションと今後の予定の確認など
4月	科内オリエンテーション: 科の概要・組織体制、理念、方針、職制、 各種マニュアルの参照方法、 配属ユニット・チーム、リハ関係部署見学・挨拶まわり	90	・当科の概要、理念、方針、職務分掌の概要を理解できる ・当科の各種マニュアルのみかた、参照方法がわかる
4月	臨床業務体制: ユニット・チーム体制、チームミーティング(EPDCAサイクル) 職務分掌・業務分掌	60	・ユニット体制、チーム体制について理解する ・EPDCAサイクルについて理解する ・職務分掌、業務分掌を理解し、自分や上席者の役割を理解する ・チーム医療の構成員としての役割を理解し、連携がとれる
4月	労務関係、科の就業規則: 勤務時間、タイムマネジメント、目標単位、 超過勤務申請および記入方法、自己研鑽の取り扱い、 休曜日・休暇申請、ノー残業デイ、書類の記入方法等	60	・1日の業務の流れを理解できる ・1日の時間管理(タイムマネジメント)を行い、業務を時間内に遂行することができる ・1日の目標単位、チームの目標単位を理解し、実施できる ・出退勤や遅刻早退、時間外勤務、休暇の取得方法を理解し、実施できる ・申請書類の書き方を理解し、正確に作成できる
4月	リハ科の各種会議、班・係の概要(班・係配属発表)、院内委員会	20	・当科の各種会議、班および係の概要、院内委員会について理解できる
4月	診療外業務(リハ室管理、科内雑務全般、院内e-Learning/バリテス)	40	・当科の診療外業務を理解する
4月	科内ICTを用いた業務管理	30	・科内共有のGoogleドライブ、LINE、ポータルサイトの利用方法や活用について理解し、実践できる
4月	新人教育システム	50	・当科の新人教育システムを理解する
4月	ユニットオリエンテーション	40	・各ユニットや部門のルールやマニュアルを理解する
4月	リハ部門電子カルテ参照および記録	45	・部門記録の適切な入力方法を理解し入力できる (テンプレートの使用、介入時間、リハスタの登録時間と記録の時間など)
4月	リハ部門システムの使い方(リハスタ、ファイルメーカー)	45	・リハスタの操作方法が理解でき、入力できる ・単位入力および各種コストの算定方法を理解し入力できる ・ファイルメーカーの操作方法が理解でき、入力できる (カンファレンスの申し送り、休暇時の申し送り、BI入力、廃用BI、計画書チェックなど)
4月	キャリアラダー、人事評価および面談について	30	・当科のキャリアラダーや各種面談および目標設定シートについて理解する
4月	勉強会班・生涯学習班	20	・当科の勉強会と生涯学習に関して理解する
4月	災害対策	30	・災害時の対応が理解できる ・災害時の避難経路や消火器の設置場所について理解する
4月	当科における医療安全の取り組みおよび個人情報の取扱い	40	・インシデント・アクシデント発生時の対応、報告、レポート作成方法を理解し実施できる ・患者誤認予防を理解し実施できる ・写真や動画撮影をする際の手続きを理解する
4月	コミュニケーション、接遇、電話対応	40	・医療人としての身だしなみ、態度、挨拶がきちんとできる ・整理整頓を心がけ、働きやすい環境を整備することができる ・電話連絡、電話対応ができる
4月	リハに関する診療報酬	45	・当院の施設基準や診療報酬点数を理解する

4月	物品・図書班	30	・各種医療機器の理解、日常点検および週に1度の物品チェックができる ・物品の貸し出し方法を理解し、正しく実施できる
4月	グループウェアのみかた	半日	・Comedixの操作方法が理解でき入力できる
4月	Comedixについて(当科に関わること)	20	・Comedixの使用方法を理解し実施できる (お知らせ、各種文書、リハ科関連文書、議事録、スケジュール、メール)
4月	新人療法士の心得とタイムマネジメント	45	・社会人や組織の一員、一人前の療法士になるためのコツやタイムマネジメントを理解する
4月	感染管理①	半日	・感染経路別の感染対策が実践できる ・医療廃棄物の分別を理解し実施できる
4月	医療安全①	半日	・医療安全を理解し実施できる
4月	多職種連携、カンファレンス(見学含む)	30	・多職種カンファレンスの曜日と時間を理解する ・多職種カンファレンス出席者に専門職としての意見を伝えることができる
4月	研究班 (※業務マニュアルⅣ. 自己研鑽含む)	30	・研究と学術活動の手引きの概要を理解する
4月下旬	情報収集	45	・電子カルテからリハビリテーション介入患者情報を取得する一連の流れを理解する ・電子カルテのどこを見れば目的の内容が参照できるか理解し情報収集ができる
4月下旬	実施計画書、施設間報告書(サマリー)作成	30	・実施計画書および施設間報告書(サマリー)等の作成開始から終了までの流れを理解し作成できる
5月上旬	新患紹介プレゼンテーション	30	・チームミーティングで新規患者紹介の流れを理解し発表できるようになる
5月	基本動作介助実技研修	60	・基本動作の介助方法を実践できる
5月中旬	感染管理②	半日	・感染経路別の感染対策が実践できる ・医療廃棄物の分別を理解し実施できる
5月下旬	医療安全②	半日	・医療安全を理解し実施できる
6月中旬	感染管理③	90	・感染管理について理解し実践できる
5～6月	急性期脳卒中リハビリテーションにおけるリスク管理HowTo	50	・病態やリスクを事前に把握できる
5～6月	運動器疾患のリスク管理HowTo	50	・病態やリスクを事前に把握できる
5～6月	心電図のみかた(不整脈等)、モニターのみかた・取り扱い方法	30	・モニター心電図においてリハビリテーションに必要な不整脈を理解する ・モニターの見方、取り扱い方法を理解し実施できる
6～7月	画像のみかた(中枢神経疾患 MRI、CT)	50	・それぞれの疾患に必要な画像について基本的な判読ができる
6～7月	画像のみかた(運動器疾患 Xp、MRI、CT)	50	・それぞれの疾患に必要な画像について基本的な判読ができる
6～7月	画像のみかた(呼吸器疾患 Xp、MRI、CT、肺機能検査)	50	・それぞれの疾患に必要な画像について基本的な判読ができる
7～8月	画像のみかた(循環器疾患 MRI、CT、心エコー、心カテ)	50	・それぞれの疾患に必要な画像について基本的な判読ができる
8～9月	気管切開の理解	30	・気管切開の種類や特徴について理解する
9～10月	内部障害におけるリスク管理HowTo	50	・病態やリスクを事前に把握できる
12～1月	症例報告および発表資料作成(基礎)	30	・科内症例発表会のための症例発表の基礎を理解する
2～3月	EBM、ガイドライン	30	・EBMの重要性を理解し、実践できる ・ガイドラインの基礎および使い方を理解する

Off The Job Training 新人研修スケジュール(2年目)			
実施日時		目安(分)	学習目標
4月	運動器疾患ガイドライン	50	・どのようなガイドラインがあるか知り、臨床に応用できるようにする

5月	事例検討(下肢骨折)	50	・併存疾患、合併症を把握しながら評価を進めることができる ・効率的に評価を進めることができる ・評価できた内容を多職種と共有できる
6月	事例検討(脊椎圧迫骨折)	50	・併存疾患、合併症を把握しながら評価を進めることができる ・効率的に評価を進めることができる ・評価できた内容を多職種と共有できる
7月	中枢神経疾患ガイドライン	50	・どのようなガイドラインがあるか知り、臨床に応用できるようにする
8月	事例検討(脳出血、左半球損傷)	50	・併存疾患、合併症を把握しながら評価を進めることができる ・効率的に評価を進めることができる ・評価できた内容を多職種と共有できる
9月	事例検討(脳梗塞、右半球損傷)	50	・併存疾患、合併症を把握しながら評価を進めることができる ・効率的に評価を進めることができる ・評価できた内容を多職種と共有できる
10月	事例検討(くも膜下出血)	50	・併存疾患、合併症を把握しながら評価を進めることができる ・効率的に評価を進めることができる ・評価できた内容を多職種と共有できる
11月	呼吸器疾患ガイドライン	50	・どのようなガイドラインがあるか知り、臨床に応用できるようにする
12月	事例検討(COPD急性増悪)	50	・併存疾患、合併症を把握しながら評価を進めることができる ・効率的に評価を進めることができる ・評価できた内容を多職種と共有できる
12月	症例報告および発表資料作成(応用)	50	・科内症例発表会のための症例発表のレジュメ作成ができる
1月	循環器疾患ガイドライン	50	・どのようなガイドラインがあるか知り、臨床に応用できるようにする
2月	事例検討(急性心筋梗塞、狭心症)	50	・併存疾患、合併症を把握しながら評価を進めることができる ・効率的に評価を進めることができる ・評価できた内容を多職種と共有できる
3月	事例検討(弁膜症術後か大血管術後)	50	・併存疾患、合併症を把握しながら評価を進めることができる ・効率的に評価を進めることができる ・評価できた内容を多職種と共有できる
10月～3月	集中治療領域見学(EICU、GICU)	60	【7. 重症患者の評価の実践】【4. 重症患者の治療の実践】
3月	指導スキル プリセプターに向けて	50	・指導方法や指導スキルの学習をする(コーチング、ティーチング、カウンセリング)